

美しい村通信

VOL.7
2021.8



肘折温泉の夜を灯す（山形県大蔵村）

村の話題

1.【北海道美瑛町】

美瑛町内の景観修景活動を実施しました！

「美瑛町日本で最も美しい村づくり協議会」が主催のこの活動は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し人数を制限しての開催となりましたが、町内の各団体から27名の方にご参加いただき、歩道の転落防止策の景観色塗装や国道植木帯の雑草の引き抜きなどを行いました。

美しい農村景観の保全活動を住民の皆さんとともに取り組んでいます。



3.【長野県木曾町】

景観指針の策定（広報8月号p3掲載）

開田高原は、住民と行政の協働により景観づくりに取り組んできましたが、今後も美しくかけがえのない故郷であり続けるために、今年度から3年間かけて景観づくりのための指針を策定することとしました。地域で暮らす皆さんや事業者の方々のご意見をいただきながら、将来を見据えた望ましい景観増を描いていきたいと思えます。

5.【栃木県那珂川町小砂】

里山の自然と味を楽しむ交流会

（那珂川町役場広報7月号p9掲載）

6月13日小砂里山農業体験棚田オーナークラブの交流会が、小砂地区コミュニティーセンターで開催。これは小砂village協議会が主催したもので、新型コロナの影響で5月に行う予定だった田植えが出来なかったことから開催された交流会であった。参加者は棚田の生育状況の確認や、里山散歩を行い、小砂の自然風景を楽しみました。

7.【山形県大蔵村】

草刈りの省力化に向けて（ラジコン草刈り機導入）（広報8月号p5掲載）

四ヶ村の棚田では国の中山間地域等直接支払制度などを活用しながら、保全を続けています。棚田の負担を軽減するために、ラジコン草刈り機を昨年導入し、今年から本格始動となりました。刈り幅は112cmで10aの面積を約13分で刈ることができます。今後更なる人口減少や高齢化を見据え、ラジコン草刈り機は広大な面積の棚田を守る未来への一歩となる可能性を秘めています。

2.【北海道黒松内町】

クリーンボックスのリペアが始まる

（広報7月号掲載）

ゴミの集積所の役割を持つクリーンボックス。牛舎型の意匠と色彩の統一が地域景観のポイントとして、来町者から「黒松内って素敵だね」と言われることも。始まりは平成元年。今年からボックスを修繕して生まれ変わらせる事業が始まりました。※クリーンボックスの効果や課題、修繕補助については広報をご覧ください。



4.【福岡県椎葉村】

椎葉みらい会議（みんなでつくる総合計画）

（広報7月号p.4掲載）

現在椎葉村では、第6次長期総合計画づくりが進められています。これからの椎葉村の未来を描くための、「椎葉みらい会議」や「地区みらい会議」が開催されています。

6.【福島県三島町】

町内にいっぱいのマリーゴールド

（広報7月号p7掲載）

住民が主体となり各地区で行われる花植えの苗（マリーゴールド）が6月18日に役場より配布されました。この花は、美しい地区づくりに積極的に取り組み各地区の皆さんやボランティア団体により、町道沿いや公共施設などの周辺に植えられます。

8.【熊本県高森町】

高森高校オンライン海外研修

（広報7月号p4掲載）

南阿蘇村に2022年4月に開校するアイデアITカレッジ阿蘇と高森高校の協同開催で、カンボジア・ミャンマーと繋ぎオンライン研修を開催。渡航等ができない状況下でも、広い視野を持ち多文化への興味関心を育むことを目的に開催され、カンボジア伝統の手織布「クロマー」の使い方を学んだり、日頃の英語の恐ろしさを発揮し現地の若者と交流を楽しみました。

上記の詳しいことは各町村の広報誌をご覧ください。

村の話題

9.【徳島県上勝町】

木質バイオマススクールを実施 (広報8月号p.3掲載)

今年で15回目を迎える上勝中学校生徒を対象とした木質バイオマススクールを6月22日に開校。講師から、森林の歴史や移り変わり、森林及び間伐施業の重要性、二酸化炭素吸収源の仕組み等について勉強したのちに、まき割り体験や学校近くの山林内で間伐及び搬出の体験を行いました。

10.【青森県佐井村】

原田地区まちなみ・自然環境保全大作戦 (広報8月号p12掲載)

7月10日(土)原田地区で海岸清掃が行われました。当日は総勢69人の方が参加し、燃えるゴミ約280袋、不燃ごみ約10袋、そのほかプラスチックごみなど数えきれないほどの漂着ごみを処分しました。地域の海岸を単なる漁業者が利用する場としてだけでなく、親水空間として整備することの意義について、地区住民の皆さんと考える良い機会となりました。

上記の詳しいことは各町村の広報誌をご覧ください。

事務局からのお知らせ

◎【日本で最も美しい村オンライン大学vol.1 北海道美瑛町を開催しました】

「日本で最も美しい村」連合に加盟する町村地域の先進事例をオンライン上で学ぶ『日本で最も美しい村オンライン大学』が2021年7月から始まりました。

初回の講師は、北海道美瑛町の角和町長が務め、「美瑛町の移住対策と交流人口」について講義いただきました。

今後、地方ブロックごとにリレー形式で、加盟町村長による講義を計画しております。

次回は9月に東北ブロックから山形県大蔵村の加藤村長が講師を務め実施する予定です。



◎2021年度ビューティフルデーは10月3日(日)

連合設立日(10月4日)に合わせて、加盟村内で清掃活動や連合旗の掲揚、その他関連事業を行っていただく、ビューティフルデーを、2021年度は10月3日(日)に設定しました。

町村内での活動のご協力をよろしく申し上げます。

※10月3日(日)の活動が難しい場合は、前後1週間で活動をお願いします。



◎村食材活用レシピコンテストの募集スタート

「日本で最も美しい村」連合村食材活用レシピコンテスト2021の募集がスタートしました。今年度初開催の部門です。募集期間は11/30迄。



◎「日本で最も美しい村」連合PR動画制作事業者が決定

2021年度連合PR動画の制作に向け準備を進めており、8月17日(火)の連合事業委員会において、制作事業者を株式会社博報堂とすることが決定されました。制作にあたり、加盟町村地域のご担当者様にもご協力いただくことがあるかと思いますが、ご協力をお願いいたします。